

Discovery



Summer
2021

株式会社日吉 vol.22

info@hiyoshi-es.co.jp

www.hiyoshi-es.co.jp/



日吉のPCR検査

本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

表彰

環境省「令和3年度地域環境保全功労者」として表彰されました 2021.6.22

この度、環境省より社長 村田弘司が「令和3年度地域環境保全功労者」として大臣表彰されました。毎年6月の環境月間にあわせて、環境保全や環境美化において顕著な功績があった個人や団体に対する環境大臣からの表彰です。

【御礼】 謹啓 盛夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの受賞は、長年にわたる皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。小職入社後より、主に滋賀県環境保全協会様や関係諸氏との連携を通じて滋賀県の環境行政に関わらせて頂くことができたことなどが功績として認められたものと感謝しております。これからもさらに研鑽を重ねてまいりますので相変わりがせずご指導ご鞭撻のほど心よりお願いいたします。

謹白

令和3年7月 株式会社日吉 代表取締役社長 村田 弘司

環境省サイト「令和3年度環境保全功労者等表彰者が決定しました」 <https://www.env.go.jp/press/109706.html>

第23回日本水大賞 国際貢献賞を滋賀県（日吉協力）が受賞 2021.6.15

国土交通省等が主催する、第23回日本水大賞の国際貢献賞を滋賀県（日吉協力）が「琵琶湖モデルを活用したベトナムのハロン湾・カットバ島沿岸水域の水環境保全支援」の活動で受賞しました。

本受賞は国際協力機構（JICA）の協力を得て、日吉、他県内企業とともにベトナム北部ハロン湾の水質改善を支援した県などの取り組みに対して、環境保全と経済発展を両立させる「琵琶湖モデル」の活用が評価されました。



■ 経営者「環境力」大賞を受賞



■ 経済産業省 健康経営優良法人2021に認定



■ (一社)日本環境測定分析協会より表彰



国内事業・学会

PCRを用いた下水中の新型コロナウイルス検出の取り組み 2021.2.18

日吉では、PCR法*で遺伝子解析を行う「米等の品種判定DNA検査」技術を、新たに「下水中における新型コロナウイルスの検出と検査」に役立てるよう研究を行っています。

エッセンシャルワーカーとして、廃棄物収集運搬や排水処理施設の維持管理を担ううえで感染源となりうるゴミやし尿、下水より、感染リスクの危険性が高まっています。

第51回滋賀県公衆衛生学会にて「下水およびし尿からの新型コロナウイルスの検出手法の検証」(近藤昭宏、藤井明美、近野真央、中村昌文、西村耕造、林賢一)と題して発表を行いました。

下水中からのウイルス検出では、個人を対象とした検査よりも感染拡大の傾向を早く知る指標となり、状況をより正確に把握できることが期待されます。

なお、同学会では上記を含む以下の発表を行いました。

① パスタ液剤を用いたオオバナミズキンバイの駆除について（現地試験検証）
北島 隆、近藤 昭宏、林 賢一、川崎 悦子、
築山 直弘（株式会社日吉）

② パスタ液剤を用いたナガエツルノゲイトウ駆除手法の検証
北島 隆（株式会社日吉）

③ 下水およびし尿からの新型コロナウイルス検出手法の検証
近藤 昭宏、藤井 明美、近野 真央、中村 昌文、西村 耕造、林 賢一（株式会社日吉）

第51回
滋賀県公衆衛生学会要旨集
《WEB版》

令和3年2月18日（木）【オンライン】

滋 賀 県
公益財団法人滋賀県健康づくり財団
滋賀県公衆衛生学会実行委員会

第51回滋賀県公衆衛生学会

*PCR (polymerase chain reaction) 法…DNA鎖の熱変性、プライマーのアニーリング、ポリメラーゼによる相補鎖の合成を繰り返すことによりDNAを増幅する方法です



創業65周年記念

社会に無くてはならない環境インフラ企業として100年企業をめざします！

この度、日吉は創業65周年を迎えることが出来ました。これからは社員一人ひとりが高い目標を持ち、更なる英知を結集し、お客様の視点に立ちご期待に添えるよう全社最適化をめざすと共に、社は「社会立社・技術立社」を皆が理解し実践しながら、

社会貢献と共に世界の環境保全に取り組み、「社会に無くてはならない環境インフラ企業」として100年企業をめざしてまいります。

第100回日吉ゼミナールを開催 2021.2.5

日吉では2013年より社員の広域視点での学びの場として「日吉ゼミナール」と称した研修会を月に1回の頻度で実施しています。この度、日吉ゼミナールが第100回目を迎えた記念すべき節目として社長 村田弘司による社内講演を行いました。

日吉の沿革の中で社長自身が経験・体験してきたことを後世へ伝え、また若手社員と社長によるパネルディスカッションでは日吉の今後の展望や期待することなどを討論する場を持ちました。サプライズで社長や日吉と深く関わっていただいている大学の先生方からビデオメッセージ

を頂戴し披露しました。思い出深い様々なお話を、産学連携の礎や将来への期待を込めて社長だけではなく全社員にむけて熱いメッセージをいただきました。

どの世代の社員も聞き入る瞬間、感じる場面が幾つもあり100年企業をめざす日吉の原点を改めて認識する機会となりました。

お祝いのビデオを頂きました。



香山不二雄先生
自治医科大学名誉教授・名誉教授



清水秀久先生
京都大学工学部研究科教授



佐藤圭輔先生
立命館大学理工学部教授

社会貢献

市長に子どもたちの思いを伝える！「10年後の私と近江八幡」イベントへ参加 2020.12.26

例年市子連（近江八幡市子供会育成連合会）主催の環境研修会にて次世代環境教育に携わる日吉は、今回子どもたちの意見を引き出すサポーター役として依頼を受け、総務部 橋本社員、薬品部 桑野社員、薬品部 伊東社員が参加しました。おかげで子どもたちの緊張もほぐれ、小西市長へしっかりと自分たちの考えを伝えていました。

貴重な機会に恵まれた子どもたちは、きっと地域の将来を担う立派な大人に成長してくれることでしょう。日吉若手社員にとっても、地域連携の視野が広がった瞬間でありました。



特殊車両のご紹介

下水道管内検査車

3代目となる管内検査車が納入されました。この車は、下水道管内を自走する特殊カメラと下水道管内展開画像システムを使い、管渠内の亀裂、破損、漏水箇所などを調査します。



イラスト付きごみ収集車

今年も、地域の小学4年生の書いた「環境」イラストをたくさん載せたパッカー車がお目見えしました。

環境学習の一環として子どもたちの絵をボランティアでペイントします。持続的に環境人材育成に取り組んでいます。



薬品配送用タンクローリー

日吉は、複数の薬品備蓄タンクと自社配送が可能なタンクローリーを保有しています。

お客様の要望に応じた臨機応変な配達を心がけ、日吉ならではのお客様サポートを提供します。



- 用紙:琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量:245kg/3,000枚